

「タフらいと101」がすごいワケ 10の秘密

保証10年の秘密

長寿命10年保証の根拠にあるのが、本体の放熱効果に加え、国産の高品質LED素材の採用。通常、百数十Wクラスで使うLED素子を、その半分近くで使用するゆとり設計で、電流や発熱による素子劣化を抑制している。

意味のある中国製

本製品の部品は主に日本製で、日本人が指揮する中国の工場を組み立てる。彼らは日本のものづくりの空洞化が進んだ時期に中国へ進出。かの地でこだわりのものづくりを続けている。つまり「Made by Japanese in China」ということだ。

発光部分はガラス

プラスチックが使われることの多い発光部分だが、「タフらいと」ではガラスを採用し、長時間使用による変色を抑えた設計。また、ガラス内部のすりガラス構造により、指向性の高いLED光を柔らかく拡散させる効果も。

真のエコ照明

家庭へのLED電球採用のメリットはメンテナンスフリーと省エネによるランニングコスト削減だが、結果、究極的には電球という名のゴミを地球上から減らすことができる。その意味で、「タフらいと」は真のエコ照明を考える第一歩だ。

色再現にこだわったプレミアムモデル タフらいと101 プレミアム

筐体部分にゴールドのアルミ合金を採用した高品位バージョン。30万時間10年保証の超長寿命はそのままに、高い演色性(Ra90)を実現したプレミアムモデル。口金：E26、明るさ：900lm、形状：直径55×105mm、消費電力：8.5W。2月16日発売。価格7538円



タフらいと101

独自の電解コンデンサーレス技術を採用した超長寿命のLED電球。真の意味で、LED電球による球切れのない生活が実現。口金：E26、明るさ：900lm、形状：直径55×105mm、消費電力：8.5W。2月16日発売。価格5378円

LED電球の寿命

LEDの寿命は半永久的ともいわれるが、回路部品である電解コンデンサーの寿命がLED電球の寿命を縮めてしまう要因。「タフらいと」は電解コンデンサーレス構造にすることで、LED本来の長寿命を引き出している。

適正価格

白熱電球や蛍光灯に比べ割高のLEDだが、「タフらいと」は10年保証の超長寿命に加え、良質のLED素子、独自の電解コンデンサーレス設計、筐体には高品位アルミ使用など、品質を考えると決して高い買い物ではないはず。

アルミ合金

電球の筐体部分には放熱効果を高めるアルミ素材を使用。米Apple社がよく使用するアルミ合金の最高級素材「a6063」を採用し、放熱効果及び剛性、耐久性もアップ。高級感あふれるその佇まいもモノマガリ向きだ。

重量感

通常の電球と比べ、高品位アルミ合金採用などで、持ったときにほどよくズシリとくる重みにも好感。たかが電球、されど電球。モノにこだわるわれわれモノマガリが積極的に選びたい電球が誕生したといえそう。

電子部品のこだわり

電球を構成する電子部品のほとんどは品質管理に優れた日本メーカー製を採用。部品レベルでの品質のバラツキを抑え、信頼安定の高性能を実現している。その結果が同社の打ち出した「10年保証」につながっている。

300万回

大人数の家庭や事務所でのトイレ使用にも対応できるように、1日100回以上オンオフしても故障なきように入力ヒューズの電流自乗時間積定格を計算し、いかなる環境でも300万回までのオンオフを可能にするこだわりようだ。

©KKテクノロジーズ
☎042-316-1816 www.101denkyu.jp

これこそが100年もつLED電球だ!!

白熱電球や蛍光灯の代替として普及が進むLED電球。本当の意味での長寿命を実現する、LED電球の根本的な課題に挑んだ意欲作が登場。ワクワクする電球のいい話をひとつ。

写真/宮坂政邦(WPP) 文/下川冬樹

LEDは長寿命と聞いていたのに2、3年で球切れしたというケースも発生している昨今だが、背景にはLED電球が抱えるナーバスな問題がある。設計寿命4万時間のとおり、LED自体は長持ちなのだが、電球を構成する回路、なかでもその基礎となる電解コンデンサーの寿命が短く、その消耗により電球の寿命を短めてしまふのだ。また、熱を持ちにくいといわれるLEDだが、常時点灯で管内は100度近くまで上昇。自身の発生させた熱によって電解コンデンサーを壊すという問題もある。そのふたつの構造的な課題を解決したのがKKテクノロジーズの「タフらいと」だ。

同社は大手家電メーカーの元技術者で構成されたテクノロジータームで、独自技術により電解コンデンサーレス構造を実現。最新モデル「101(ワン・オー・ワン)」には電球筐体に熱伝導率の高い高品位アルミ素材を採用するなど、放熱構造の改善で熱に強い電源をさらに保護することによって理論的には30万時間という超越的な長寿命が可能だという。その自信は同社の打ち出した「10年間保証」が如実に物語っている。一般家庭に限れば、電球寿命30万時間は使い次第で100年の使用も可能だ。ひとつの同じ電球がわれわれの一生を照らし続けるとは、なんともロマンチックな話ではないか。地球から電球という名のゴミをなくしたい、そんな想いから創られた超長寿命LED電球。久しぶりに電球にワクワクさせられた。

これぞ光源の新発明!